

平成31年度第1回
国営事業評価技術検討会

会 議 録

日 時：平成31年4月22日（月）午後2時開会
場 所：札幌第1合同庁舎 10階 共用第3・4会議室

1. 開 会

○畔津農業整備課長

ただ今から、平成31年度第1回国営事業評価技術検討会を開会いたします。

本日は、委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、北海道開発局農業整備課の畔津でございます。

委員長選出までの間、委員会の進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

2. 農業水産部長挨拶

○畔津農業整備課長

それでは、開催に当たりまして、塩屋農業水産部長からご挨拶を申し上げます。

○塩屋農業水産部長

北海道開発局農業水産部長をしております塩屋でございます。

本日は、お忙しい中、国営事業評価技術検討会にご出席いただきまして、厚く御礼を申し上げます。

また、各委員の皆様方には、日ごろから、農業農村整備のみならず、北海道開発局の行政全般にわたりましてご支援、ご協力をいただいておりますことに、重ねて感謝を申し上げたいと思います。

今年度の事業評価の対象につきましては、期中の評価地区が上士別の1地区、そして、事後評価の地区が上音更、雄武中央、由仁、富士見の4地区となっております。今年度も対象地区が多く、また、遠方まで、ご審議、ご視察をお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願したいと思います。

昨年は、天候不順の影響も大きく、北海道の農業にとりましては、大変厳しい年となりました。9月6日の北海道胆振東部地震では、農林業に携わる方々の尊い命が失われ、農作物や農地、農業施設にも甚大な被害が発生いたしました。

被災した勇払東部ほか3地区では、地震直後からの緊急対策に続き、仮復旧を進めた結果、来月5月から暫定的な水利用が可能となる見込みとなっております。

今年度は、安心して農業が継続でき、農産物を安定して供給できるよう、本格的な復旧工事を進めてまいりたいと考えております。

そして、間もなく令和の時代となるわけですが、食というものの北海道の重要産業としての位置づけがますます高まってくるのではないかと考えられるところでございます。

こうした地域農業や農村、食を支える役割を果たしている農業農村整備事業の実施の効

率性、透明性を確保しながら進めていくためにも、各委員の皆様の視点から事業を評価あるいは検討していただき、今後にしっかりつなげていきたいと考えております。検討会では、忌憚のないご意見をいただければ大変ありがたいと思っております。

非常に短時間で審議いただくこととなりますので、各委員におかれましては、お忙しい中、ご負担をおかけする点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○畔津農業整備課長

ありがとうございました。

3. 委員紹介

○畔津農業整備課長

それでは、本日は、第1回目の委員会でございますので、議事に先立ちまして、当技術検討会の委員にご就任いただいております先生方をご紹介させていただきたいと思っております。

五十音順でご紹介させていただきます。

岡村俊邦委員です。

紺野裕乃委員です。

長澤徹明委員です。

中原准一委員です。

波多野隆介委員です。

森久美子委員です。

続きまして、北海道開発局の出席者をご紹介させていただきます。

先ほどご挨拶いただきました塩屋農業水産部長です。

北田調整官です。

松野農業計画課長です。

都築農業調査課長です。

草薙農業設計課長です。

芳賀農業振興課長です。

高橋事業調査官です。

斎藤農業企画官です。

高野農業施設管理官です。

白井土地改良管理室長です。

山本農業振興対策官です。

高久事業計画推進官です。

最後に、農業整備課長の畔津でございます。

4. 委員長選任

○畔津農業整備課長

続きまして、議事次第の4の委員長選任に移らせていただきます。

配付資料2の9ページに国営事業評価技術検討会設置要領がございますが、第3条第2項により、委員長は委員による互選ととなっておりますので、よろしく願いいたします。

○中原委員

長澤先生に委員長をお願いしたいと思います。

○畔津農業整備課長

それでは、長澤委員を委員長にということですが、皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○畔津農業整備課長

ありがとうございます。

それでは、皆様方、ご異義がないようでございますので、長澤委員を委員長といたします。これ以降の検討会の進行につきましては、長澤委員長をお願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。

5. 議 事

○長澤委員長

委員長に推挙されました長澤です。改めてご挨拶を申し上げます。

我々委員一同、この仕事は随分長くやっていますので、その目的や手法についてはよく知っているところでありますが、馴れることなく、それに流されることなく、しっかりと役目を果たしていきたいと思っております。

再評価の1地区につきましては、社会的な状況にきちんと対応できているかということ、そのほかいろいろありますけれども、そういったところで評価をしていくこととなります。それから、事後評価の4地区につきましては、完了した地区が現在のあるいは将来の農業農村のためにどのように役立つか、役立っているかということを経験から評価をするというふうに私は理解しております。

事務局あるいは農水部の方々のお力添えもいただきながら、しっかりこの仕事をしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、早速、お手元の議事次第に従いまして、議事に入りたいと思います。

最初に、5番の審議事項の（1）当検討会の運営について、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局（藤井）

事務局を担当しております農業計画課の藤井と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

お手元の資料2の平成31年度再評価・事後評価関係要領等の9ページ目をお開きいただきたいと思います。

ここに、国営事業評価技術検討会設置要領がございます。本技術検討会の業務といたしましては、第2条に記載がありますとおり、北海道開発局国営事業管理委員会による再評価及び事後評価の結果の諮問に対し、意見を答申するものとするがございます。

その手順といたしましては、現地調査や関係市町村、土地改良区、受益者などと意見交換会を行い、第2回技術検討会での審議を通じて答申をいただくこととしております。

次に、検討会の公開のあり方につきましては、毎年、第1回目の検討会で決定を願っております。

参考に、昨年度の検討会の公開要領について説明させていただきます。

同じ資料の15ページ目をお開き願いたいと思います。

昨年度の技術検討会の公開要領ですが、検討会の透明性を確保する観点から、1に原則として一般に公開とするとし、一般傍聴についても、2以下の公開要領に沿って傍聴していただくこととしております。

議事の公表につきましては、配付資料とともに議事概要を公表します。

また、議事録は、事務局で作成し、各委員に内容を確認いただいた上で公表しているところでございます。

なお、議事録は、発言者名を記して公表しています。

また、連休明けから順次行います現地調査につきましては、各委員が地区の最終的な評価に対し、意見を述べるための途中段階で行っている調査でございますので、意見交換につきましても非公開としておりますが、要請があれば、実施日時、調査地区などを公表するとしております。

なお、現地での意見交換の概要につきましては、第2回の技術検討会までに整理し、公開いたします。

委員へのマスコミなどからの取材については、事務局が窓口として対応するという運営方法をとりたいと考えております。

○長澤委員長

ありがとうございました。

ただいま、事務局から委員会の運営について、特に公開要領に関して詳しくご説明がございました。昨年度と変わっていないようですが、改めて私から確認しておきたいと思います。

公開の要領については、まず、1点目として、一般傍聴を認め、公開要領に沿って傍聴していただくということです。2点目として、技術検討会の議事録については、発言者名を記して公表することにいたします。3点目として、現地調査につきましては、各委員が地区の最終的な評価に対して意見を述べるための途中段階、調査作業という位置づけになります。現地での意見交換については非公開とする。要請があれば、実施日時、あるいは、調査地区等は公表いたします。4点目として、現地での意見交換の概要については、第2回の技術検討会において概要を公開することにしたいと思います。5点目として、委員へのマスコミ等の取材については、委員が個別に対応しないということですずっとやっております。これは、個々の委員の判断で発言するのはいいのですが、この技術検討会としての意思が統一されていないというのは困りますので、事務局あるいは委員長の私を通じてしていただくこととなります。

以上ですが、ただいまの運営方法について、委員の方々からご意見、ご質問等があればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

○長澤委員長

それでは、本年度も、ただいま確認しました内容で運営したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○長澤委員長

ありがとうございます。

なお、評価の意見を取りまとめていく段階で運営方針に変化が生じた場合は、委員にて協議し、対応していきたいと思います。

それでは、続きまして、審議事項(2)平成31年度再評価・事後評価地区について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(武下)

事務局の農業整備課の武下でございます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

私から、資料3の平成31年度再評価・事後評価地区一覧の中の再評価地区についてご説

明させていただきます。

平成31年度の実施地区の再評価でございますが、今年度は1地区になってございます。

国営農地再編整備事業の上士別地区でございます。関係市町村は士別市、事業採択年度は平成21年度から、受益面積は825ヘクタール、総事業費が155億円ということで、受益面積の内訳として、区画整理が801ヘクタール、農地造成が24ヘクタールという主要工事計画になってございます。

○事務局（藤井）

続きまして、事後評価地区のご説明をさせていただきます。今年度は、合計4地区でございます。

そのうち、国営かんがい排水事業は2地区でございます。まず、上音更地区は、関係市町村が士幌町と上士幌町、事業期間が平成19年度から24年度、完了公告が25年度、受益面積が1,761ヘクタール、事業費が36億6,500万円、主要工事は排水路が6.5キロメートルでございます。

次に、雄武中央地区は、関係市町村が雄武町、事業期間は平成2年度から24年度、完了公告が25年度、受益面積が4,039ヘクタール、事業費は354億4,000万円、主要工事は貯水池1カ所、用水路が103.8キロメートルでございます。

次に、国営農地再編整備事業として1地区、由仁地区がございます。関係市町村は由仁町、事業期間は平成16年度から24年度、完了公告が25年度、受益面積が1,091ヘクタール、事業費が165億9,800万円、主要工事は、区画整理1,089ヘクタール、農地造成5ヘクタール、用水路2.9キロメートル、道路が11.3キロでございます。

最後に、国営総合農地防災事業の富士見地区ですが、関係市町村が天塩町、事業期間が平成17年度から24年度、完了公告が25年度、受益面積が919ヘクタール、事業費が64億5,000万円、主要工事は、排水路7キロメートル、暗渠排水752ヘクタール、不陸整正187ヘクタール、障害物除去222ヘクタール、置土が131ヘクタールでございます。

以上、4地区でございます。

○長澤委員長

ありがとうございました。

以上の再評価の1地区、事後評価の4地区の5地区について、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

（「なし」と発言する者あり）

○長澤委員長

では、質問も特段ないようですので、続いて、審議事項（3）平成31年度スケジュールについて、事務局からご説明をお願いします。

○事務局（藤井）

資料4に沿ってご説明いたします。

本日4月22日が第1回の検討会でございます。

次に、7月中旬予定の第2回国営事業評価技術検討会までの間、各地区の現地調査を行い、その後、評価結果について諮問させていただきまして、同じく7月中旬には事業評価の結果の答申をいただくスケジュールを考えてございます。

公表の時期は、資料2の2ページにございます国営土地改良事業等再評価実施要領の第7、同じく、資料2の5ページ目にございます国営土地改良事業等事後評価実施要領の第5に基づきまして、8月末までに公表することが定められております。それに沿いまして技術検討会のご審議を進めてまいりたいと思います。非常にタイトなスケジュールでございますが、よろしく願いいたします。

○長澤委員長

ありがとうございます。

8月末までに公表とゴールが決まっていますので、それに向けて作業を進めていくという段取りになります。

何か質問、意見はございますでしょうか。

（「なし」と発言する者あり）

○長澤委員長

それでは、特に質問、意見はないようですので、本日の議事案件についてはこれで終了となります。ありがとうございました。

なお、本日の議事につきましては、公表する議事概要の内容確認について私にお任せいただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」と発言する者あり）

○長澤委員長

ありがとうございます。

では、本日の検討会の具体的な公表について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（藤井）

本日の議事概要につきましては、委員長に内容をご確認いただいた上で、配付資料とともに公表する予定です。

議事録につきましても、各委員に内容をご確認いただきまして、その上で公表したいと思えます。

○長澤委員長

ありがとうございます。

委員の皆様、ご協力をありがとうございました。これで第1回検討会の審議は終了いたします。

6. 閉 会

○畔津農業整備課長

以上をもちまして、平成31年度第1回国営事業評価技術検討会を終了させていただきます。

ありがとうございました。

以 上